

ふれあい
ネットワーク

社会福祉協議会 だより

心配ごと、悩みごとの
ご相談はご遠慮なくどうぞ
会町内35-1270

日常生活に不安はありませんか? 社会福祉協議会がお手伝いします!

認知症・知的障がい・精神障がいなどがあるため
に判断能力が不十分であり、日常生活に不安がある
人へ…地域福祉権利擁護事業を利用してみませんか。

例えば…

- ホームヘルパーやデイサービスなど、福祉サービスを利用したいが、相談する人がいない。
- 年金や生活保護費などをすぐに使い切ってしまう。また、そのために公共料金や家賃を支払えなくなってしまう。
- 介護保険や年金などの通知やその他の郵便物が来ても、内容がよくわからない。また、手続きがわからない。
- 物忘れなどで通帳などの大切なものをどこにしまったか、わからなくなってしまう。また、再発行を何度も繰り返している。自分で保管しておくのが心配である。
- 訪問販売の被害に何度もあっており、断りきれない。その支払いにも困っている。

などで、お困りの人に生活支援員が自宅を訪問して相談に応じ、次の4点について援助します。

- ① 福祉サービスを利用したり、やめたりすること
 - ② 日常的な金銭管理（金融機関での手続き、お金のお届けなど）
 - ③ 大切な書類などの預かり
 - ④ 定期的な訪問による生活状況の把握
- などを、ご本人との「契約」により、社会福祉協議会が責任を持って手続きや支払いの代行などを行います。

▶ 利用料 1回1時間あたり900円
(以後、30分毎に450円加算)します。
※ 非課税世帯は無料

無料法律相談所を開設します！

法律事務所の弁護士による「無料法律相談所」を開きます。遺産相続、離婚、財産、多重債務など、法律に関するご相談をお受けします。

相談についての秘密は固く守られ、相談料は無料です。

● 日 時 令和3年11月15日(月)

午後1時から4時まで

● 場 所 苓北町新ふれあい館

(苓北町志岐32番地3)

※開設場所にご注意ください

● 相談料 無 料

● 相談担当弁護士

「天草ひだまり総合法律事務所」(天草市)

※相談は、事前の予約が必要になります。

※相談を希望される人は、**11月8日(月)**までに苓北町社会福祉協議会へご予約ください。

※相談時間には制限(1件 約30分)がありますので、申込み多数の場合は、一部相談をお断りすることがあります。

(詳細は、苓北町社会福祉協議会へお問い合わせください。☎35-1270)

(無料法律相談に係る費用は、社会福祉協議会が負担しています。)

無料でお譲りします 福祉機器リサイクルコーナー



バウンサー…1台 ベビーフェンス…1台
アンパンマン補助便座…1台 (新品未使用)

このコーナーは、不要になった福祉機器などを寄付していただき、必要な人に利用していただけます。

申込受付期限

*希望される人は、**11月8日(月)**までに申込みください。希望者多数の場合は、抽選になります。
抽選は、**11月9日(火)**午前9時に苓北町保健センターで行います。

*事前にご連絡をいただけますと、現品を確認することもできます。現品は、新ふれあい館(苓北町志岐32番地3)にあります。

お問合せ先 ☎35-1270



〈プロフィール〉

苓北町で育ち、富岡小学校6年生の時から本渡の女学校に進む。当時は分散教育(勉強よりも農作業が主な教育)で、畑の草引き・からいも掘りや稻刈りなどをしていた。また、戦時中でもあり限られた食料しかなく苦労をした。(長崎に)原爆が落ちた時も、富岡の元袋でタコつぼ掘り(人が入れるくらいの穴)の作業をしていたことを今でも覚えている。

早苗さんの父が酒屋の免許を取得し、昭和13年から家業の宅島酒店の商いが始まっていたのだが、早苗さんも女学校卒業後は家業の手伝いをすることになった。早苗さんの父は酒屋の仕事だけでなく、種物の配給があることで本渡まで自転車で行き帰りして、袋の代わりにその種物を新聞でくるんで売ったりしていた。

しばらくして、早苗さんの祖母から「おとなしくて良か人だから」と、のちにご主人となる勝さんの話を聞く。志岐の斎藤自転車屋の四男であった勝さんだが、早苗さんとは結婚するまで顔を合わせたことも無く、そのまま宅島家の婿養子として迎え入れられる。早苗さんの成人式からわずか五日後の、昭和28年1月20日のことであった。結婚後は、5人の子宝(男1人・女4人)に恵まれる。(現在では、孫が9人とひ孫が9人いらっしゃる)

早苗さんは、子育てに追われながら家業にも精を出した。当時は、酒を売ってしばらくしてから一升瓶の回収に回ったり、商品が少なかったため油一つを売るのにも1件ごとに印かんをもらう必要があったりと苦労が多かった。

それから月日は流れ、三代目の息子さん家族と共に家業を営み、現在も店番をこなしている。そして早苗さんにとっての楽しみは、12月に1人増える予定のひ孫の存在である。

「今はコロナで大変だし、ひ孫ともなかなか会われないけど、写真を送ってくれるのでそれを飾って、いつも元気をもらっています。」

早苗さんは、笑顔でいきいきと話されました。

※早苗さんが話された内容で掲載しております。

苓北町で、元気に生き生きと暮らしていらっしゃる『たっしゃかもん』を紹介します。

輝いています! たっしゃかもん

No.245

「宅島酒店二代目店主夫人
店番は任せてください!」

たく しま さ なえ
宅島 早苗さん

(昭和8年1月2日生まれ) 満88歳 出来町区在住

問 好きな食べ物

なんでん食べます。特に好きなのは果物で、桃が良かですね。子供の頃に父親からは、「出された物を食べんなら、他に何も食べるな」と言われて育ちました。

問 好みの異性のタイプは

優しか笑顔の素敵な人が良か。芸能人で言えば、歌手の五木ひろしさんが好き。あと、(女性だけ)同じく歌手の島津亜矢さんも良かですね。

問 私の趣味

家業の酒屋の店番をしていて、お客様と世間話をしたりするのが楽しいですね。仕事柄で計算をするのも好きですし、お酒の帳簿もつけています。それと、今はコロナで休みだから残念だけど、いきいきサロンに行くのが楽しみです。

問 私の健康法

いつも同じ時間に寝て、そして、いつも同じ時間に起きます。その後、近くのお地蔵さんに手を合わせて家族の健康を祈って、それから家の近くを30分ほど散歩します。それと、遠くに住んでいるひ孫の写真が送られてくるので、それを見て元気をもらっています。

問 若い世代へ伝えたいこと&町へのメッセージ

苓北町は良か所ですよ。苓北町で育ついろいろとしていただいて、感謝しています。海や山などの自然も多くて、本当に住みやすい所です。



▲金婚式の記念に酒店の前で



▲勝さんと結婚当時